

マナミとタケヤの なるほど！不妊症のこと

第5話 「不妊症にやさしい社会って？」

不妊治療をしている約5500人に『仕事との両立はできていますか?』と聞いたところ

仕事と不妊治療の両立

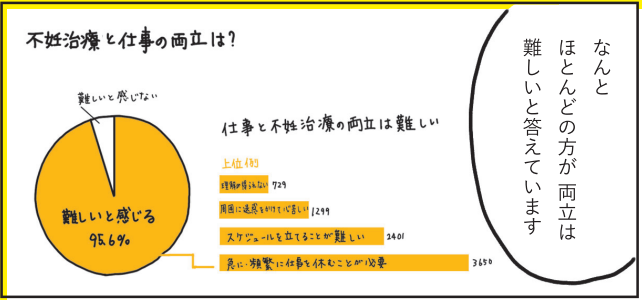
講師 ヤスコ
不妊治療経験者支援 NPOスタッフ

タカ先生のご紹介で企業の勉強会にも参加させてもらった

**(株)OO食品タイパシティ経営勉強会
仕事と不妊治療の両立について**

その理由として通院と仕事とのスケジュールの調整が大きな課題になっていることがわかりましたその結果どうなったか?

なんと全体の約20%が退職されました
あらかじめ
通院スケジュールを立てることが難しいという現実がわかったんです



じゃあどうしてそのような事態になっちゃうのか私も働きながら不妊治療をしていたのですがその時のスケジュールを見て考えてみましょう

つまり5人に1人! ってこと?

体外授精 トライ甲の私のスケジュール

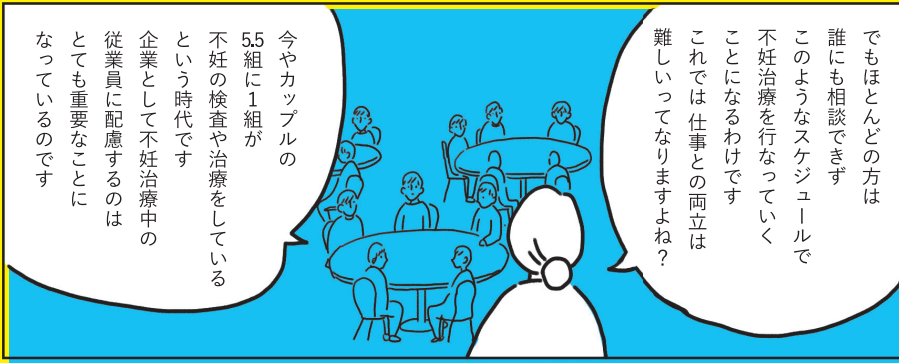
休をとって採卵したり受精卵を移植したりホルモン補充のために仕事の合間をみて通院したり...

私が体外授精をしていた時のある月のスケジュールですほとんどに頻繁にクリニックに行ってる感じですね仕事を早退して卵子を育てるための注射を打ちにいったり採卵したり...

有給休暇
午後休暇
受精確認の電話
判断日、待ち時間に夕食・PCで仕事
卵巣チェックのため通院、待ち時間に夕食
仕事をセリ上げてクリニックへ
通院日

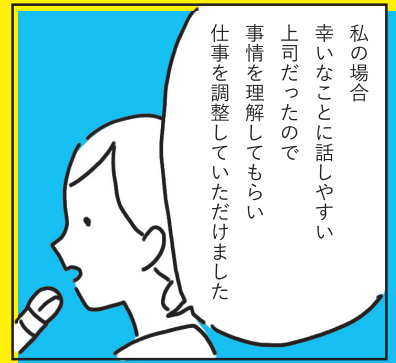
©2021NPO法人Fine

*治療の一例です

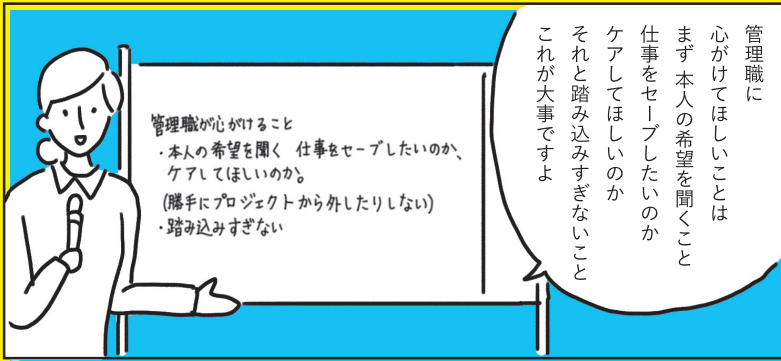


今やカップルの5.5組に1組が不妊の検査や治療をしているという時代です
企業として不妊治療中の従業員に配慮するのはとても重要なことになっ

でもほとんどの方は誰にも相談できずこのようなスケジュールで不妊治療を行なっていくことになるわけですから
これでは仕事との両立は難しいってなりますよね？



私の場合
幸いなことに話しやすい上司だったので
事情を理解してもらい
仕事を調整していただきました



管理職が心がけること
・本人の希望を聞く 仕事をセーブしたいのか、ケアしてほしいのか。
(勝手にプロジェクトから外したりしない)
・踏み込みすぎない

管理職に心がけてほしいことは
まず本人の希望を聞くこと
仕事をセーブしたいのか
ケアしてほしいのか
それと踏み込みすぎないこと
これが大事ですよ



先生もし部下から相談があったら
どんな言葉をかけたらいいでしょうか？

こちらをご覧ください



不妊治療当事者を傷つける言葉

子どもまだ？

子ども持つっていいよ

また休みとるの？

妊活、あんまり長期はやめてね？

妊活？じゃあプロジェクトから外れておくか

治療はいつまでやるの？

体外受精？そこまでやるの？

そして
こんな声掛けは
当事者を傷つけることがあるんですよ

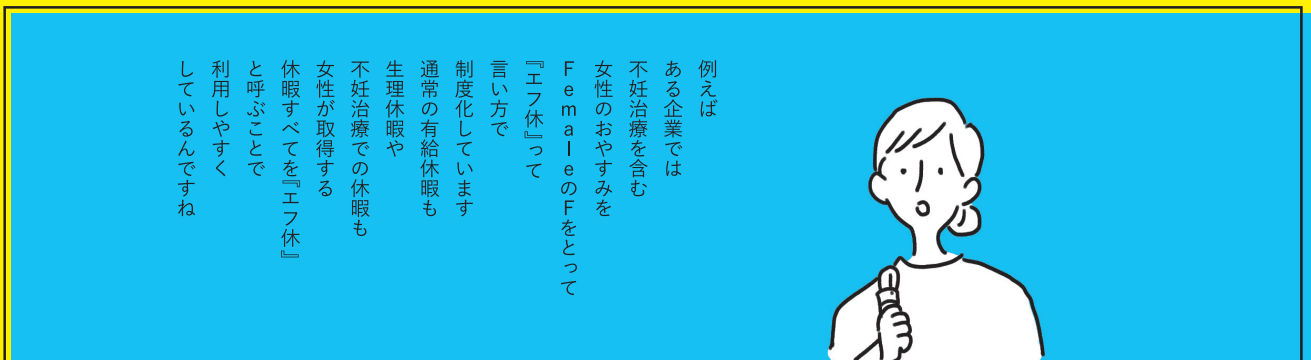
※NPO法人Fineでの企業向け研修資料より



まずは
不妊治療に対して
休暇制度や
フレックスタイム制などの
両立支援制度を
整えましょう



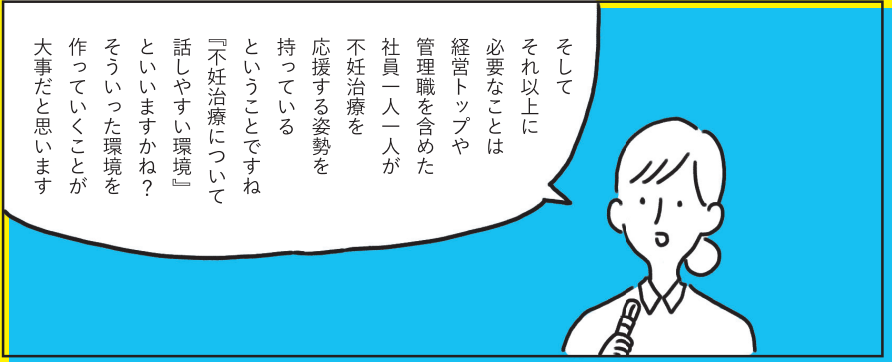
会社として
どんなことが
できるんでしょうか？



例えば
ある企業では
不妊治療を含む
女性のおやすみを
FemaleのFをとって
『エフ休』って
言い方で
制度化しています
通常の有給休暇も
生理休暇や
不妊治療での休暇も
女性が取得する
休暇すべてを『エフ休』
と呼ぶことで
利用しやすく
しているんですね



なるほど



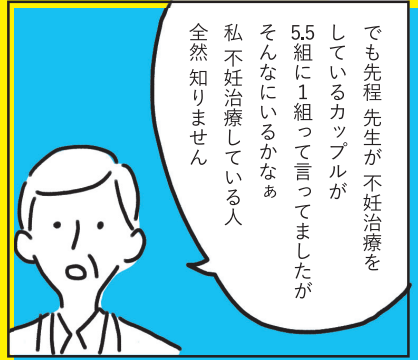
そして
それ以上に
必要なことは
経営トップや
管理職を含めた
社員一人一人が
不妊治療を
応援する姿勢を
持っている
ということですね
『不妊治療について
話しやすい環境』
といえますかね？
そういった環境を
作っていくことが
大事だと思います



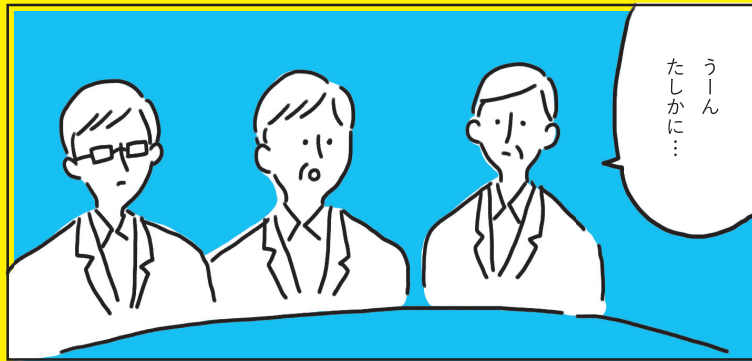
えっ



確かに
私の周りにもいませんね



でも先程先生が不妊治療を
しているカップルが
5.5組に1組って言うてましたが
そんなにいるかなあ
私不妊治療している人
全然知りません



うーん
たしかに：



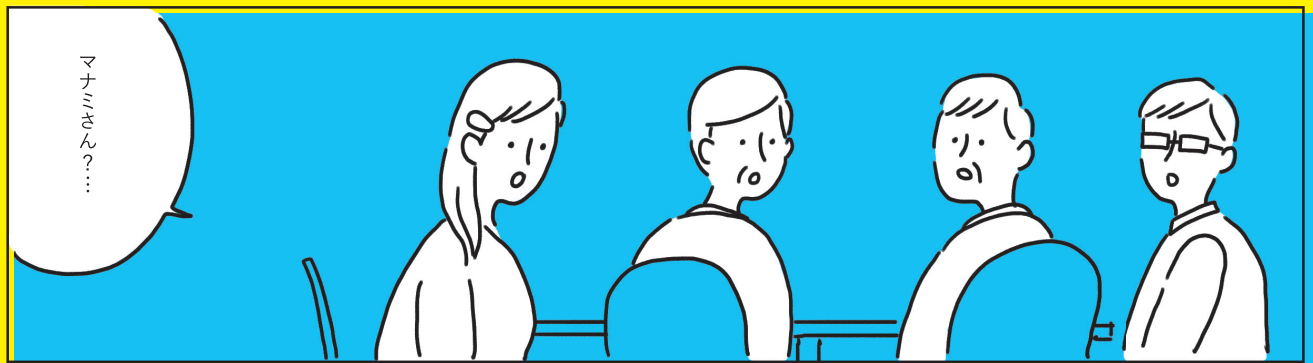
ほんとうに
いないでしょうか？
声をあげられていない
だけでは
ないでしょうか



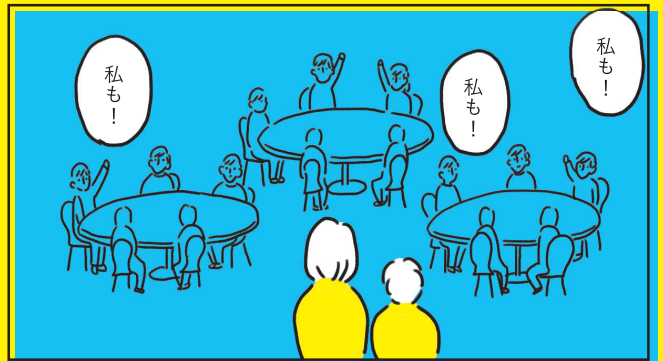
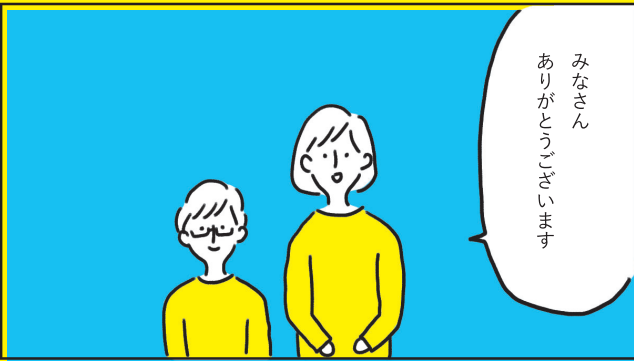
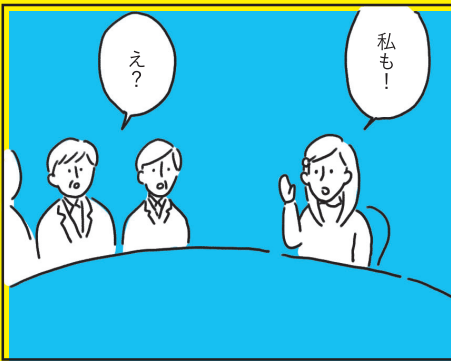
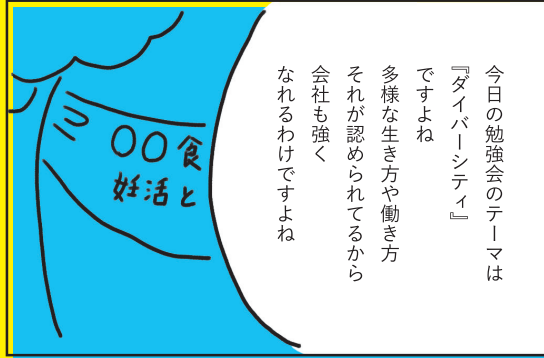
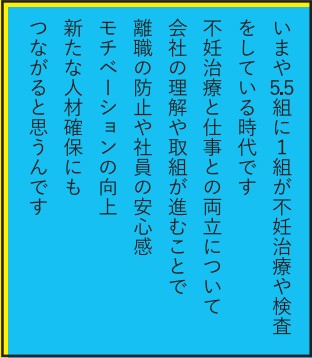
〇〇食品開発2課の
田中マナミです
私も夫との子どもが
欲しくて不妊治療しながら
仕事も頑張りたいと
思っています



ここにいます！

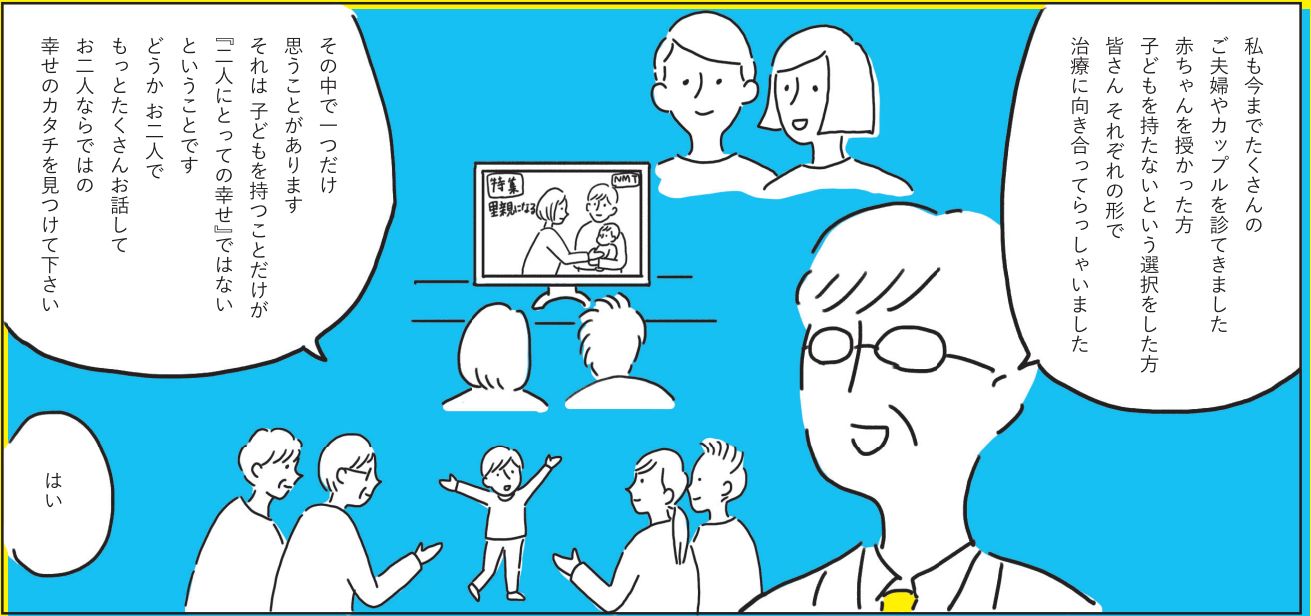
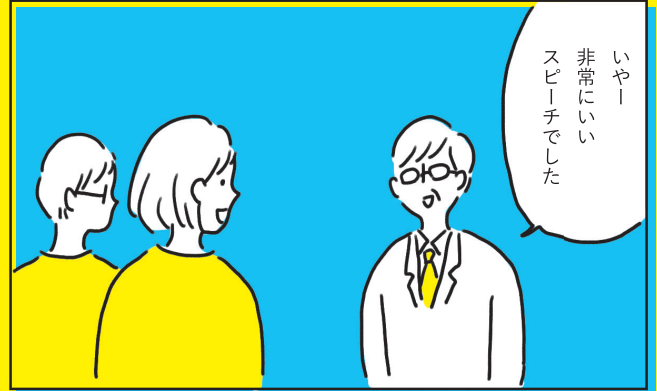
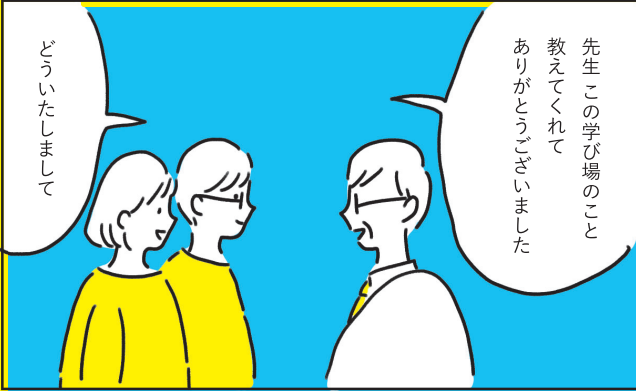


マナミさん？…





では不妊治療の経験のある方と未経験の方とでテーブル回りでワークショップをしましょう



その中で一つだけ思うことがあります それは子どもを持つことだけが『二人にとっての幸せ』ではないということです
どうかお二人でもっとたくさんお話ししてお二人ならではの幸せのカタチを見つけて下さい

はい



私たちはまだきつと不妊治療の入り口にいるだけかもしれない その結果がどうあろうと二人で向き合っていくことが大切 この学び場は そんなことを教えてくれた

